

上越市の観光に関するデータ集2025

上越市文化観光部魅力創造課

目次

I	調査概要	1
II	上越市の観光の現状	3
1	観光入込客	4
2	宿泊	8
3	インバウンド	14
4	観光消費額	15
III	その他	16

I 調査概要

調査概要

1 調査の期間

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

2 調査内容

(1) 観光地点等入込客数調査（延べ人数）

四半期ごとに、観光地点の管理者、行祭事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計を実施。

(2) 宿泊者数調査

市内の宿泊施設を対象にアンケート調査を行い、稼働率や宿泊者の属性（県内・県外旅行者、外国人旅行者）について集計を実施。

(3) 観光地点パラメータ調査

市内の観光地点2か所を訪れた観光客を対象に、四半期ごとにアンケート調査を行い、属性別の構成比（出発地、宿泊客・日帰り客等）、平均訪問地点数等について聞き取りを実施。

3 その他

グーグルアナリティクス、RESAS（地域経済分析システム）による分析

Ⅱ 上越市の観光の現状

1 観光入込客

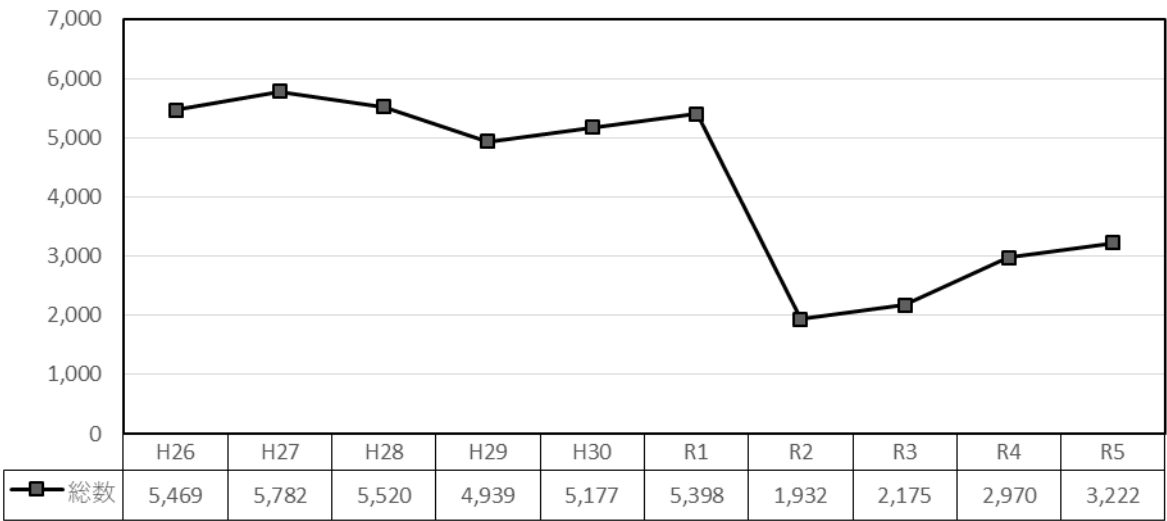
観光客の入込状況(概況)

○ 令和5年の上越市の観光入込客数は、3,222,665人となり、前年から約8.5%増加した。

総数 3,221,665人（対前年 +8.5%、+251,456人）

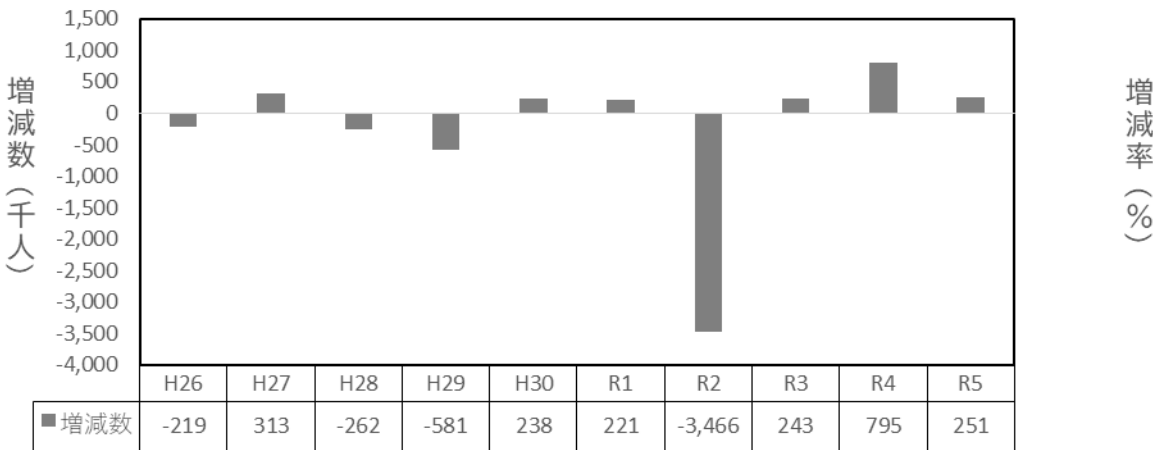
※ 令和4年総数 2,970,209人

図1 観光入込客数の推移（10年間）



※端数処理（四捨五入）を行っているため、合計と内訳が一致しない場合がある（以降の図・表も同様）。

図2 観光客増減の推移（10年間）



出典：新潟県「令和5年新潟県観光入込客統計」を基に市で作成。

延べ観光入込客数（月別）

- 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこともあり、ほとんどの月で前年を上回っている。
- 7月は上越まつりへの来場者数が大幅に増加したことにより、前年を大幅に上回った。

図3 月別観光客数

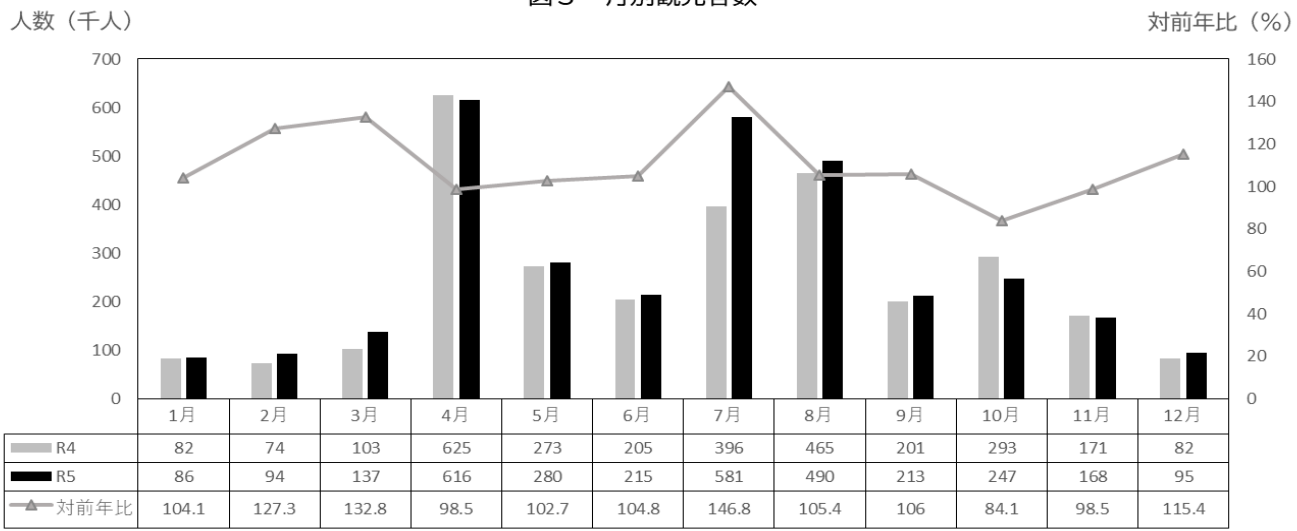
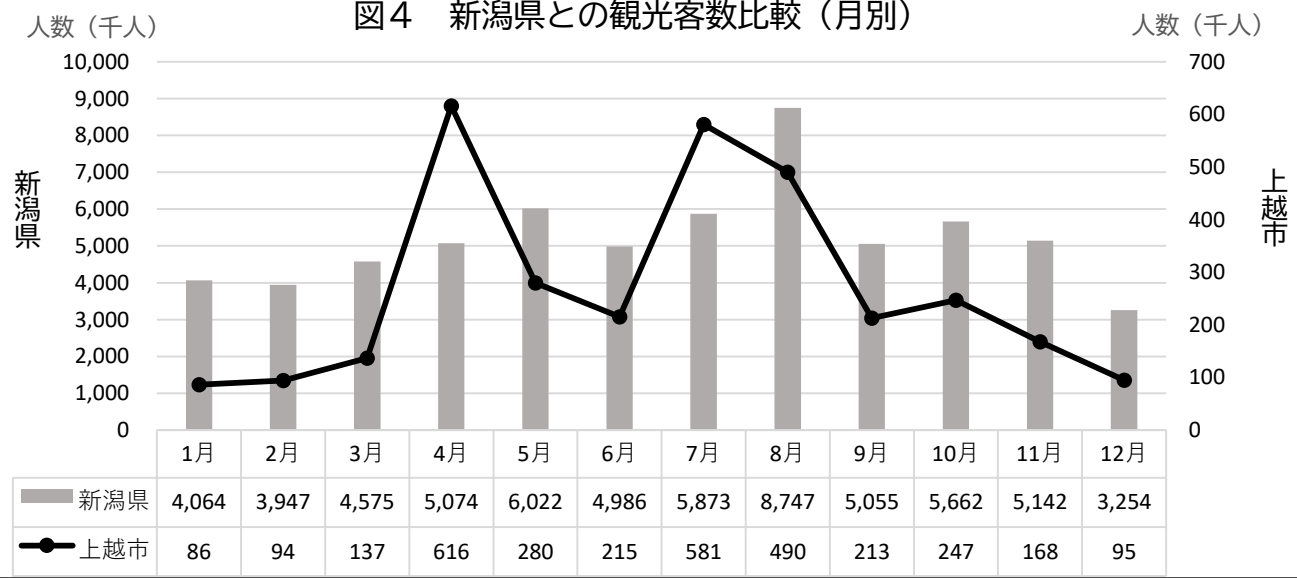


図4 新潟県との観光客数比較（月別）



出典：新潟県「令和5年新潟県観光入込客統計」を基に市で作成。

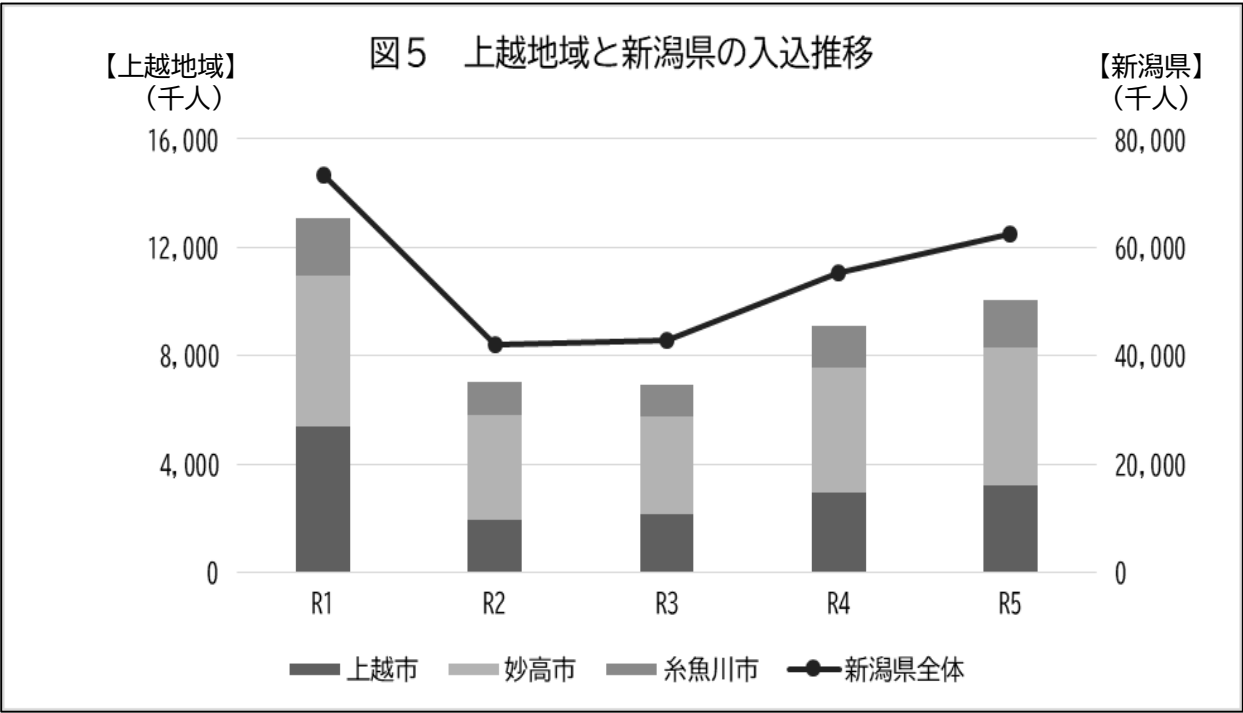
上越地域（上越市・妙高市・糸魚川市）の観光入込客数（年間）

- 上越地域全体の入込客数は令和4年と比較して10.5ポイント増加。
- 新潟県全体（※上越地域含む）では、令和4年比で12.8ポイント増加していることから、上越地域の観光需要の回復度合いは高い傾向にある。
- コロナ禍（令和2年）以降、上越地域における入込客数の5割以上を妙高市が占める傾向が続いている。

表1 観光入込客数の推移（5年間） （人）

区分	R1	R2	R3	R4	R5	伸率
新潟県全体	73,303,449	42,006,752	42,997,139	55,324,776	62,400,540	12.8%
上越地域	13,082,033	7,039,702	6,952,433	9,083,419	10,038,965	10.5%
上越市	5,398,033 (41.3%)	1,931,742 (27.4%)	2,174,893 (31.3%)	2,970,209 (32.7%)	3,221,665 (32.1%)	8.5%
妙高市	5,580,400 (42.7%)	3,881,790 (55.1%)	3,570,300 (51.4%)	4,588,940 (50.5%)	5,078,870 (50.6%)	10.7%
糸魚川市	2,103,600 (16.1%)	1,226,170 (17.4%)	1,207,240 (17.4%)	1,524,270 (16.8%)	1,738,430 (17.3%)	14.1%

※下段のパーセンテージは、上越地域の総入込に対する各市の入込の割合



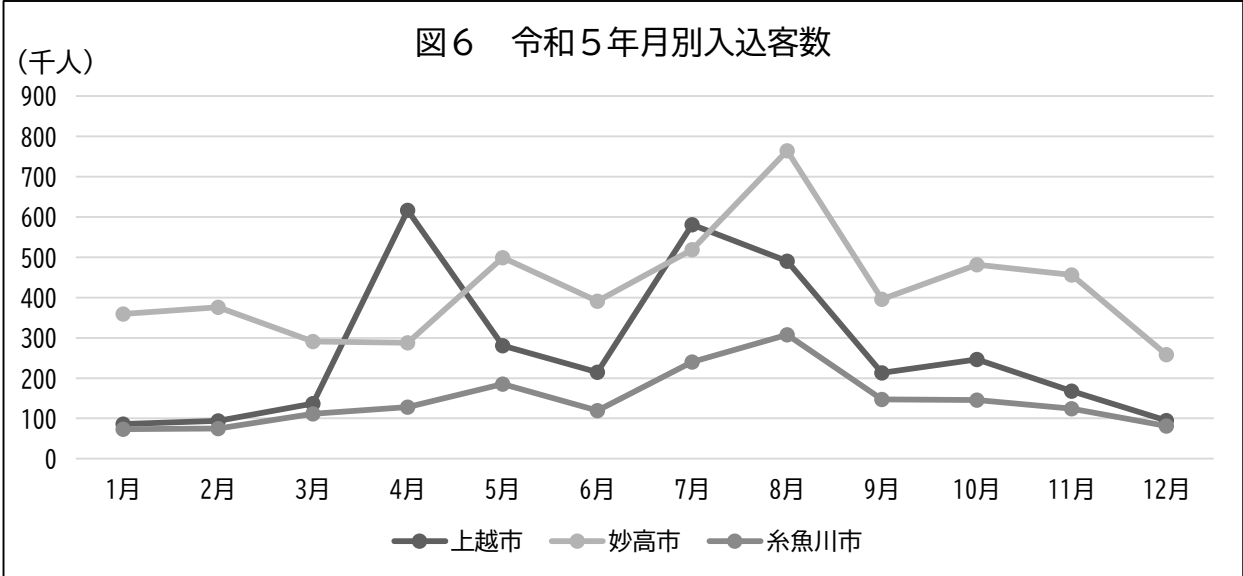
出典：新潟県「令和5年新潟県観光入込客統計」を基に市で作成。

上越地域（上越市・妙高市・糸魚川市）の観光入込客数（月別）

- いずれの市も 7、8 月に年間入込が増加する傾向にあり、この2か月間で年間総数の1/4程の入込がある。
- 4 月の入込客数が突出して多い点が上越市の特徴であり、高田城址公園観桜会の影響によるところが大きいと推察される。

表2 令和5年月別入込客数（上越地域） (千人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上越市	86	94	137	616	280	215	581	490	213	247	168	95	3,222
妙高市	359	376	291	288	499	391	519	764	396	481	456	258	5,079
糸魚川市	74	75	112	128	185	120	240	307	147	146	124	81	1,738
上越市 (割合)	2.7%	2.9%	4.3%	19.1%	8.7%	6.7%	18.0%	15.2%	6.6%	7.7%	5.2%	2.9%	100.0%
妙高市 (割合)	7.1%	7.4%	5.7%	5.7%	9.8%	7.7%	10.2%	15.1%	7.8%	9.5%	9.0%	5.1%	100.0%
糸魚川市 (割合)	4.2%	4.3%	6.4%	7.4%	10.7%	6.9%	13.8%	17.6%	8.5%	8.4%	7.2%	4.7%	100.0%



2 宿泊

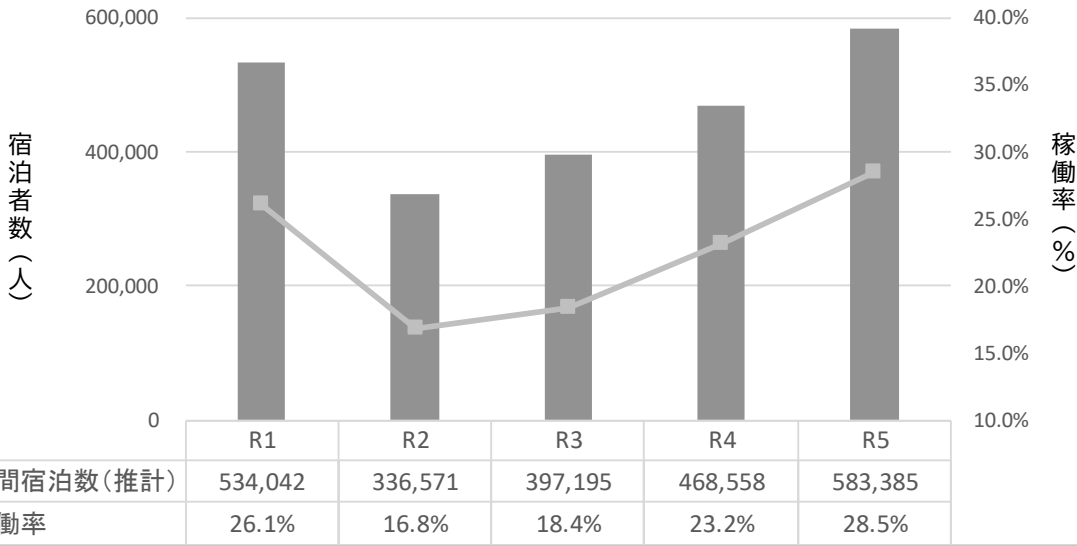
上越市の宿泊者数（年間）

- 令和5年の市内全体の宿泊者数（推計値）は**583,385人泊**（前年比+114,827人泊）
- 令和4年と比較し、24.5%増となった。稼働率が回答施設によって変動すること、回答宿泊施設が年によって異なることが大きな要因である。

単位【人泊】

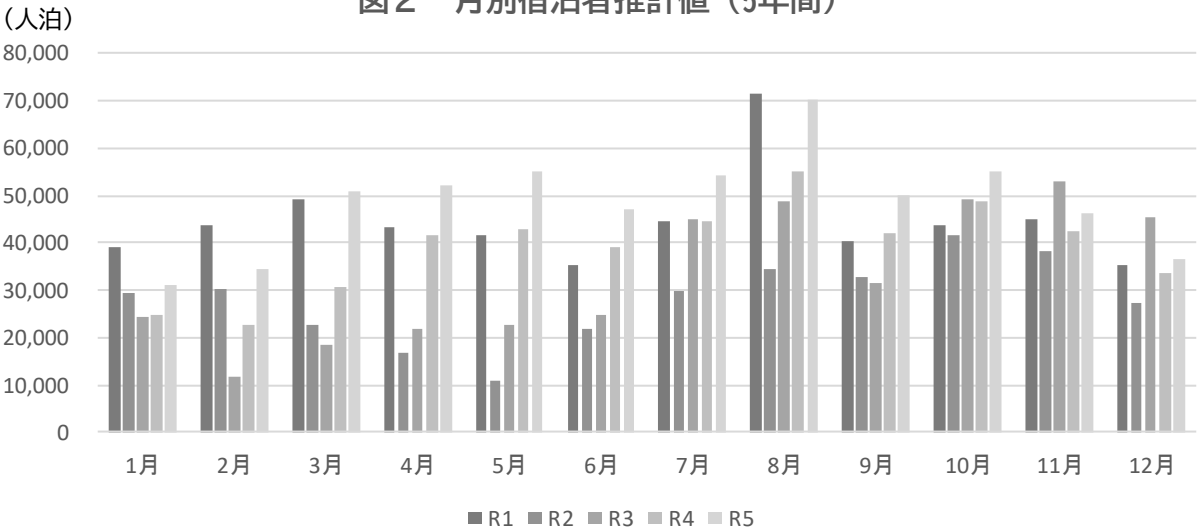
年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R5	31,071	34,643	50,755	52,397	55,225	47,242	54,155	70,137	49,992	55,181	46,106	36,553	583,385
R4	24,977	22,694	30,556	41,717	42,970	39,321	44,529	55,001	31,911	48,877	42,445	33,559	468,558
増減	6,093	11,949	20,199	10,680	12,255	7,921	9,626	15,136	18,081	6,304	3,661	2,994	114,827
伸率	24.4%	52.7%	66.1%	25.6%	28.5%	20.1%	21.6%	27.5%	56.7%	12.9%	8.6%	8.9%	24.5%

図1 年間宿泊者数（推計値）と年平均稼働率の推移（5年間）



※稼働率は回答施設によって変動するとともに、回答施設が年によって異なるため単純比較はできない。

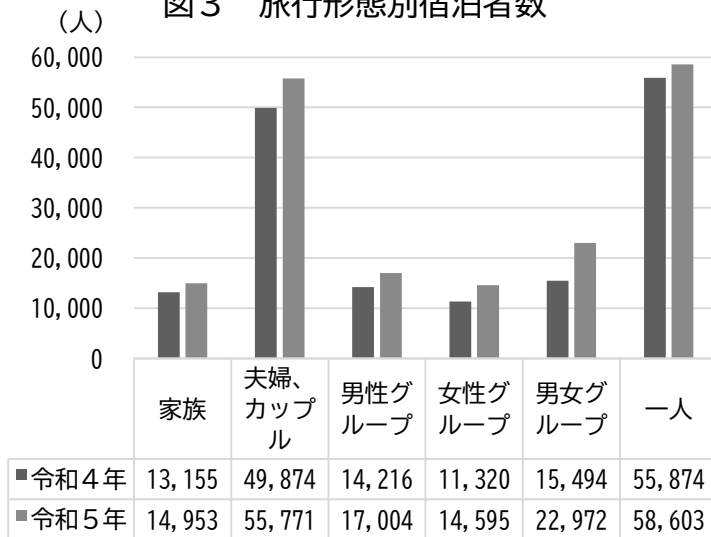
図2 月別宿泊者推計値（5年間）



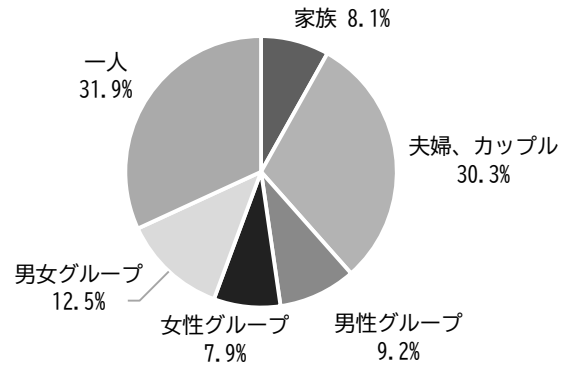
上越市の旅行形態における傾向

- 令和5年の旅行形態別宿泊者割合は「一人」が31.9%と最も大きい一方、「家族」が8.1%、「女性グループ」が7.9%と小さく、令和4年の傾向と概ね一致している。

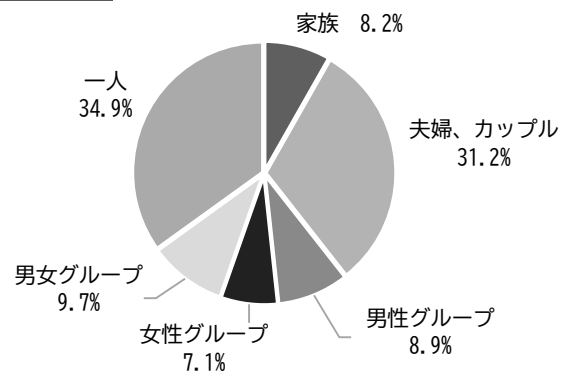
図3 旅行形態別宿泊者数



R 5



R 4



出典：RESAS地域経済分析システム「宿泊者分析」

本グラフの表示方法：観光マップ>宿泊者分析>表示する地域を市町村単位で指定>属性別に見る>参加形態別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8、9の数値と一致しない。

地域経済分析システム（RESAS:リーサス）とは

RESAS（「Regional Economy (and) Society Analyzing System」の略）は、地域経済に関する様々な官民ビッグデータ（産業、人口、観光、農業等）をわかりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。

（内閣府地方創生推進事務局ホームページより）

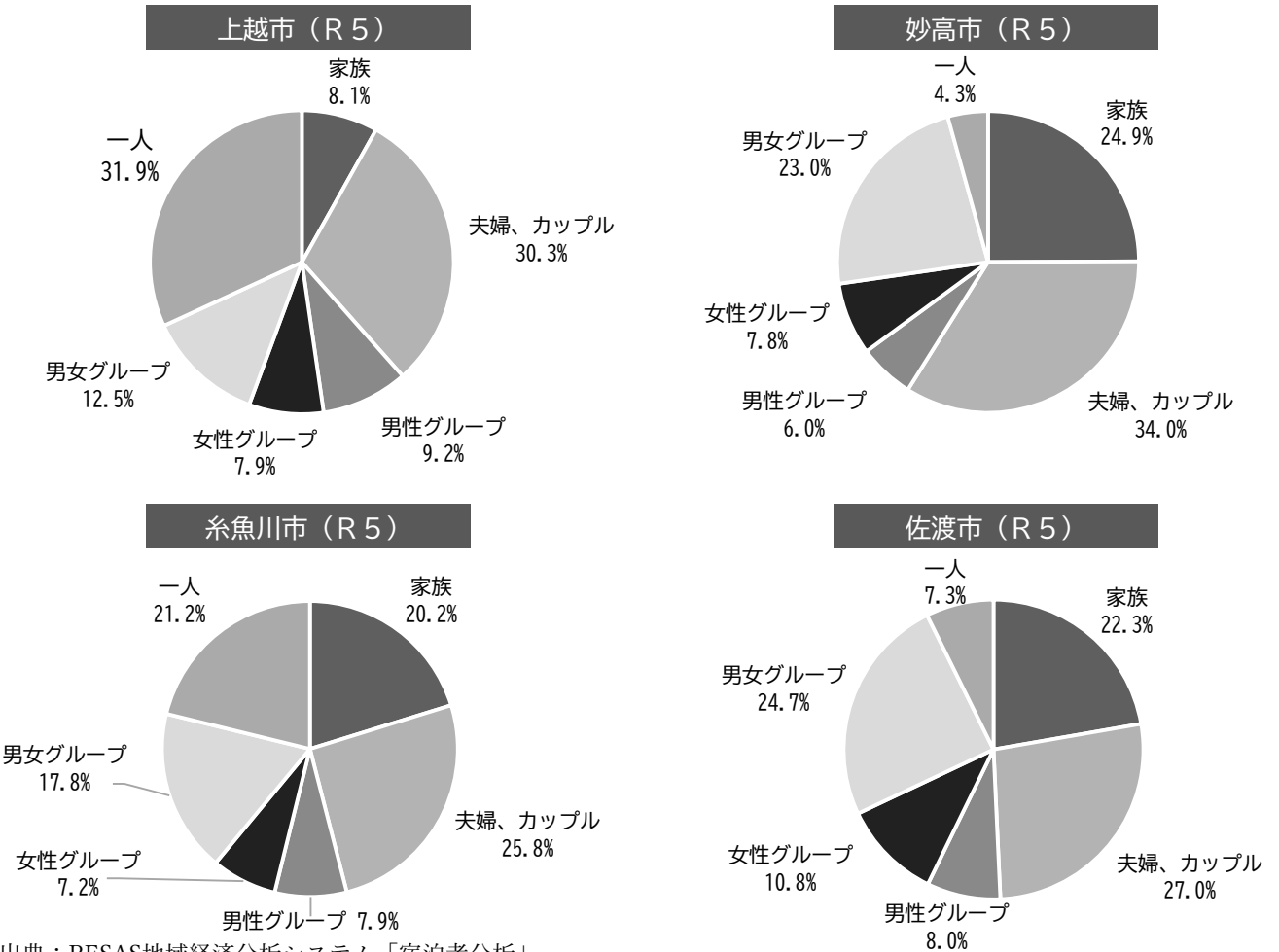
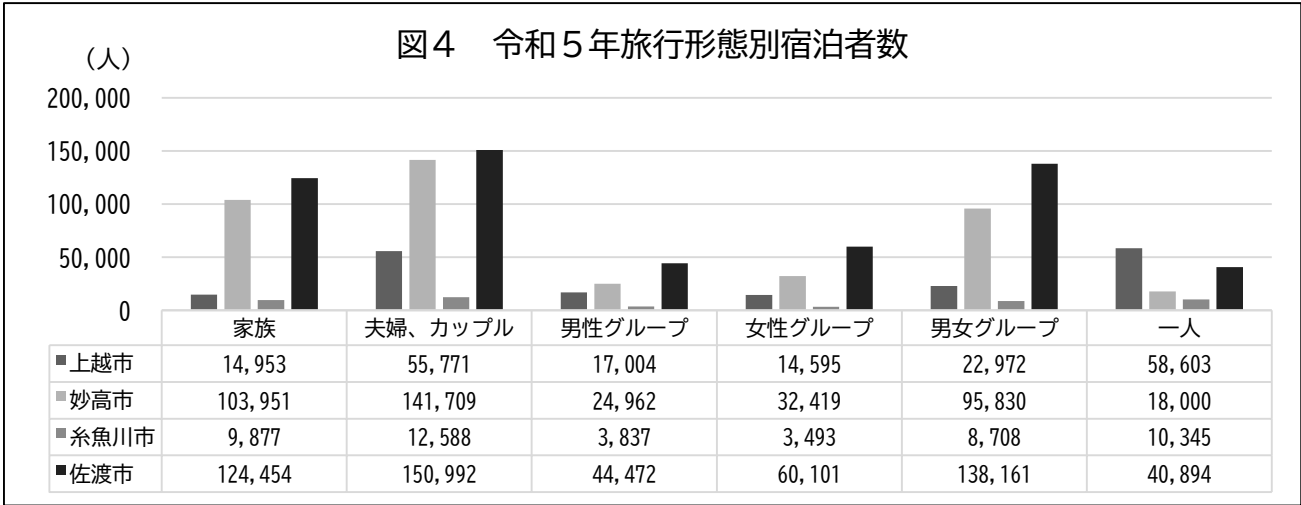
https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/top_seminar/h29-01-13-haifu1.pdf

RESASの特徴

- ✓インターネットで誰でも利用可能
- ✓分かりやすい画面操作
- ✓データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる

旅行形態における近隣市との比較

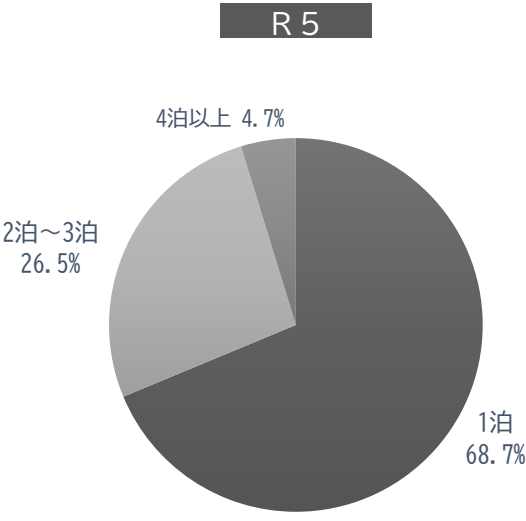
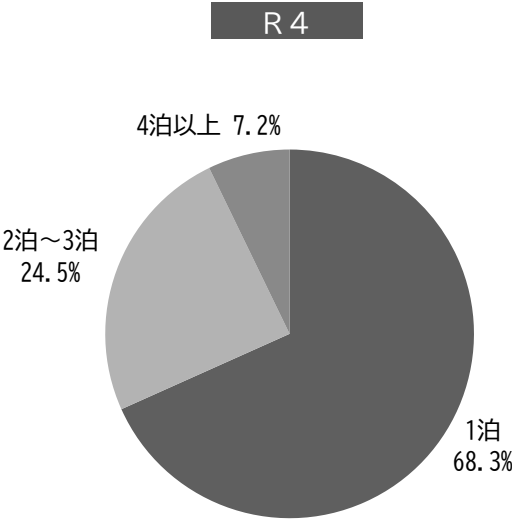
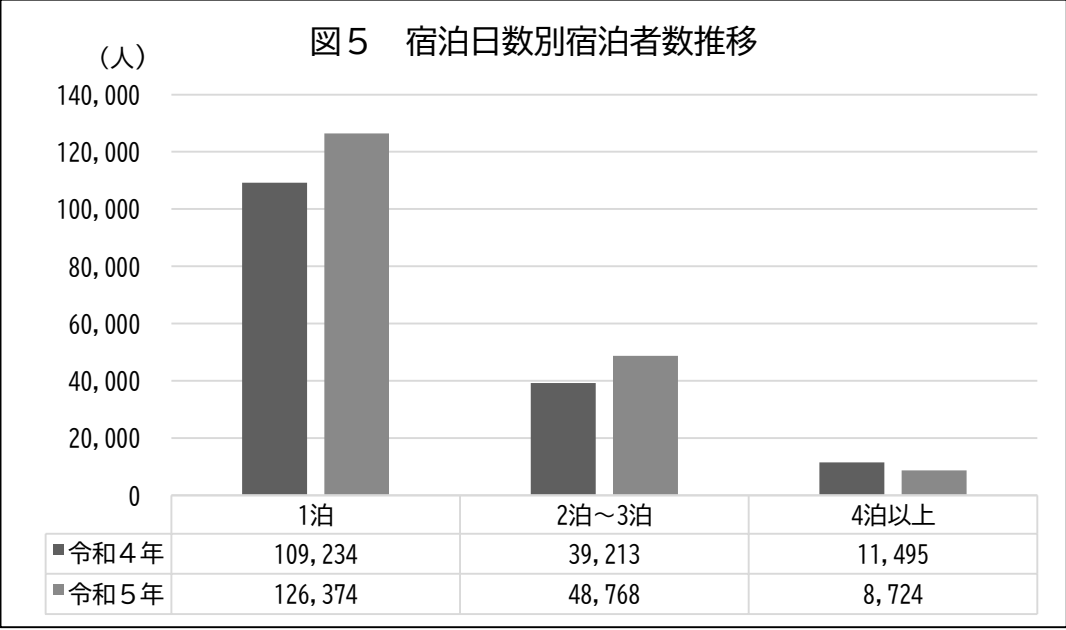
- 上越市は「一人」が全体の約32%を占めており、他市よりも一人旅需要が高いことがうかがえる。
- 一方「家族」が8.0%と他市と比べても割合が低いことから、ファミリー層の集客による宿泊者数増加の余地があると考えられる。



出典：RESAS地域経済分析システム「宿泊者分析」
本グラフの表示方法：観光マップ>宿泊者分析>表示する地域を市町村単位で指定>属性別に見る>参加形態別で表示する
※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8、9の数値と一致しない。

上越市の宿泊日数における傾向

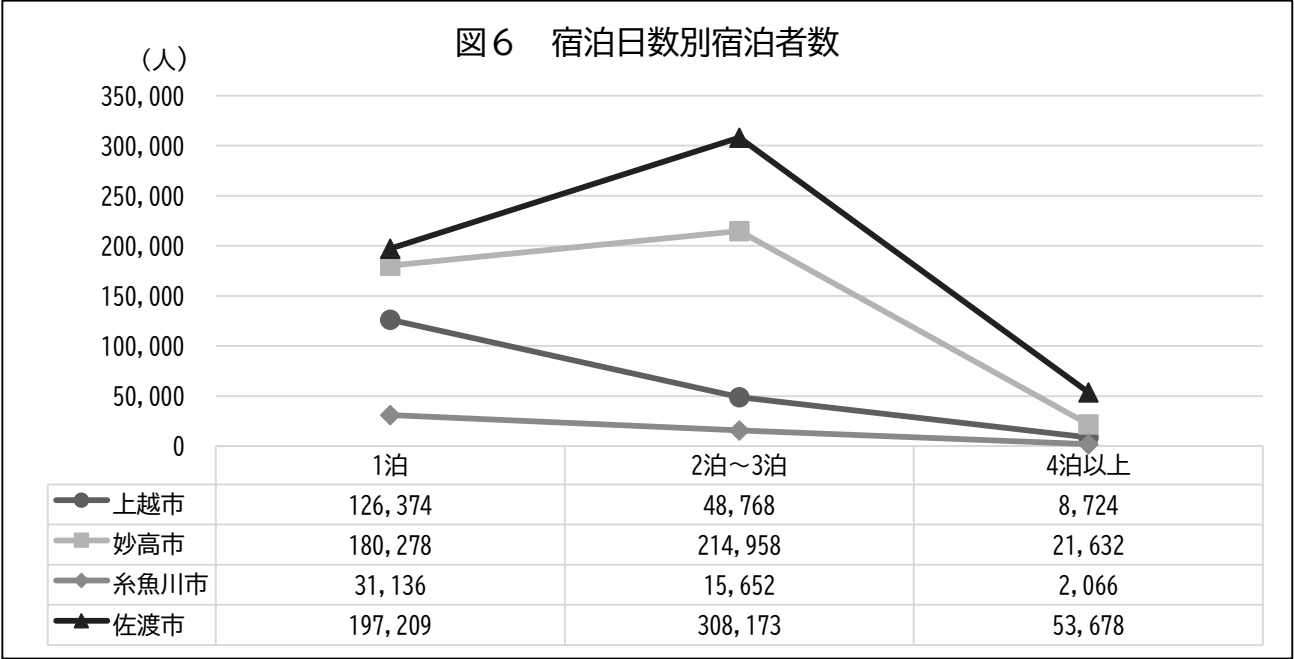
- 令和4年同様、宿泊日数別においては「1泊」の割合が過半数を占め、2泊以上（連泊）する宿泊客は全体の半分以下となっている。



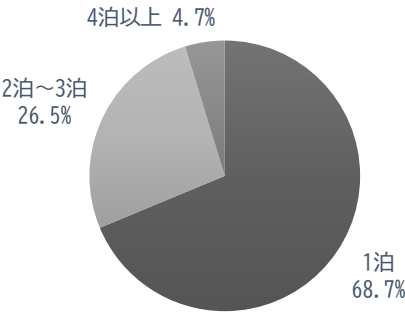
出典：RESAS地域経済分析システム「宿泊者分析」
本グラフの表示方法：観光マップ>宿泊者分析>表示する地域を市町村単位で指定>属性別に見る>宿泊日数別で表示する
※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8、9の数値と一致しない。

宿泊日数における近隣市との比較

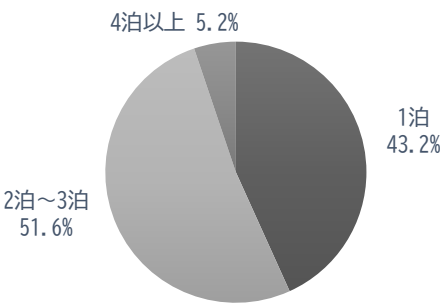
○ 妙高市や佐渡市は「2泊～3泊」の割合が過半数を占めているのに対し、上越市は「1泊」の割合が大きい。



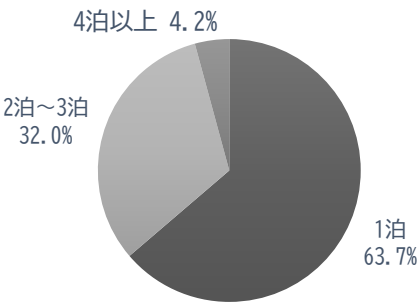
上越市（R5）



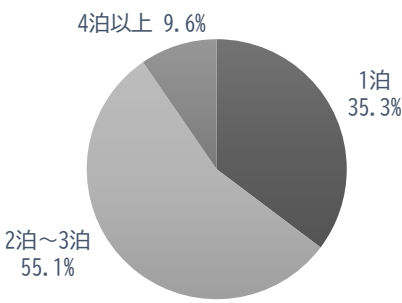
妙高市（R5）



糸魚川市（R5）



佐渡市（R5）

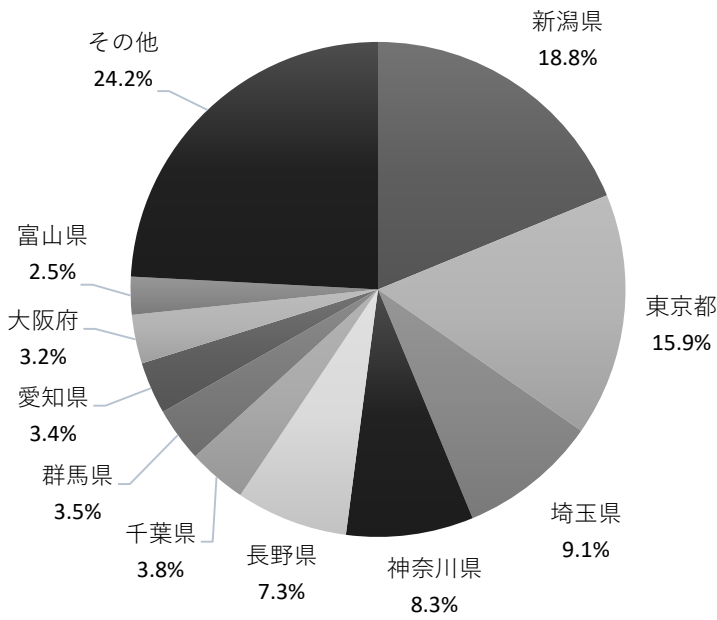


出典：RESAS地域経済分析システム「宿泊者分析」
本グラフの表示方法：観光マップ＞宿泊者分析＞表示する地域を市町村単位で指定＞属性別に他地域と比較する＞宿泊日数別で表示する
※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8，9の数値と一致しない。

上越市の居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

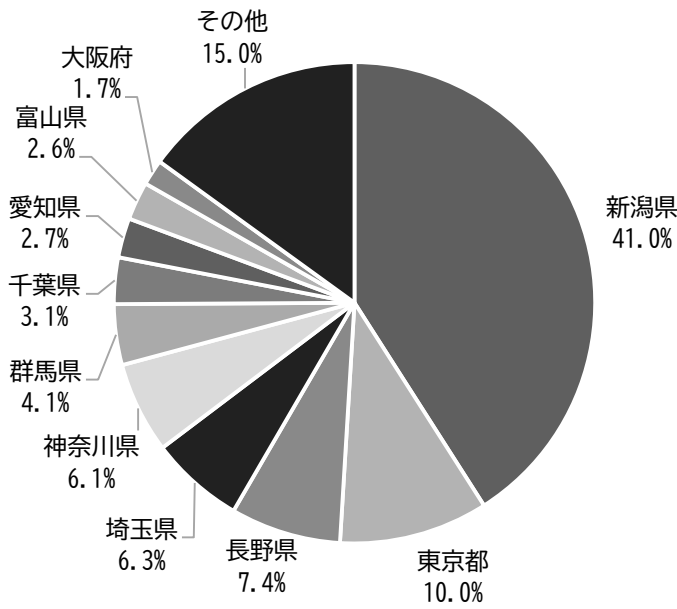
- 上越市への宿泊者の居住都道府県（どの都道府県から来たか）の上位10都道府県は、令和4年と同一であり、全体的な傾向も概ね同様であった。
- 居住都道府県別割合のうち、「新潟県」の割合が大きく減少していることから、県をまたいだ移動が活発化したことで県外旅行者が増加したことがうかがえる。

令和 5 年 居住都道府県別割合



1位	新潟県	34,363人	18.79%
2位	東京都	29,037人	15.88%
3位	埼玉県	16,615人	9.09%
4位	神奈川県	15,216人	8.32%
5位	長野県	13,378人	7.32%
6位	千葉県	7,023人	3.84%
7位	群馬県	6,459人	3.53%
8位	愛知県	6,235人	3.41%
9位	大阪府	5,832人	3.19%
10位	富山県	4,515人	2.47%
	その他	44,202人	24.17%
合 計		182,875人	100.00%

令和 4 年 居住都道府県別割合



1位	新潟県	65,475人	41.0%
2位	東京都	16,009人	10.0%
3位	長野県	11,865人	7.4%
4位	埼玉県	10,110人	6.3%
5位	神奈川県	9,790人	6.1%
6位	群馬県	6,524人	4.1%
7位	千葉県	4,993人	3.1%
8位	愛知県	4,242人	2.7%
9位	富山県	4,104人	2.6%
10位	大阪府	2,764人	1.7%
	その他	24,011人	15.0%
合 計		159,887人	100.0%

出典：RESAS地域経済分析システム「宿泊者分析」を基に上越市作成
本グラフの表示方法：観光マップ>宿泊者分析>表示する地域を市町村単位で指定>居住都道府県別に見る
※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8，9の数値と一致しない。

3 インバウンド

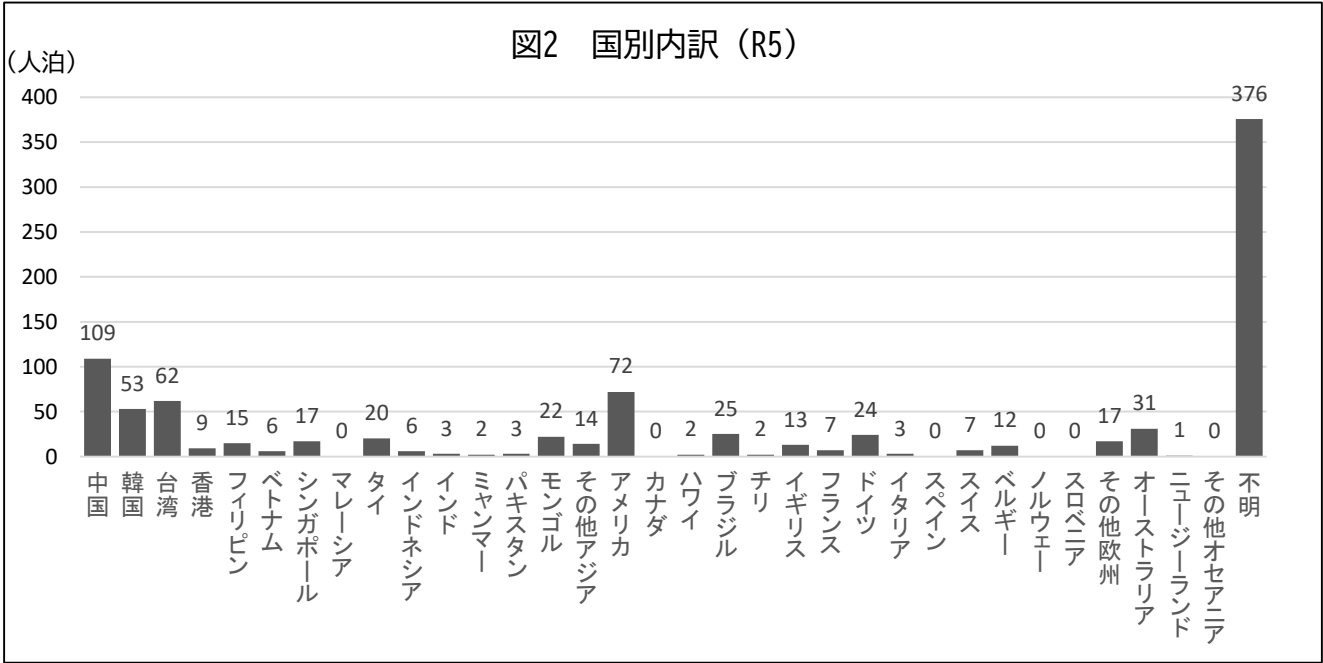
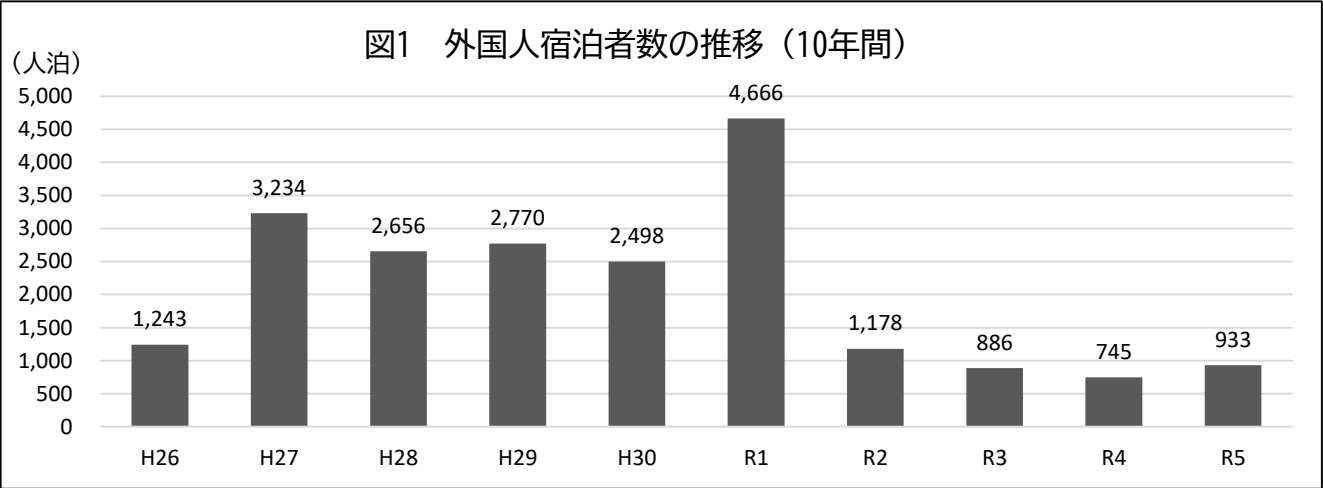
上越市の国別外国人宿泊者

- 令和5年の外国人宿泊者数（推計値）は933人泊（前年比+188人泊）
- 対前年比で訪日客は大幅に増加したが、コロナ禍前（R1）と比較すると、未だ低い水準にある。

単位「人泊」

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R5	29	49	56	136	87	47	62	80	85	101	74	127	933
R4	28	20	25	30	28	9	72	41	83	46	168	195	745
増減	1	29	31	106	59	38	▲10	39	2	55	▲94	▲68	188
													25.2%

※市の調査において回答があった施設の宿泊者数を合計したもの



出典：H23～H26…観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に市で作成。
H27～H30…新潟県「外国人宿泊者数の県内別推計について」を基に市で作成。
R1以降…宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成。（R1以降は県が個別数値の公表を取りやめたため、市独自調査の数値を記載）

4 観光消費額

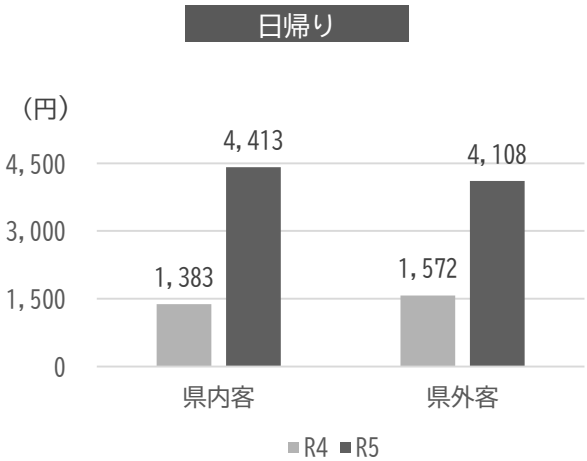
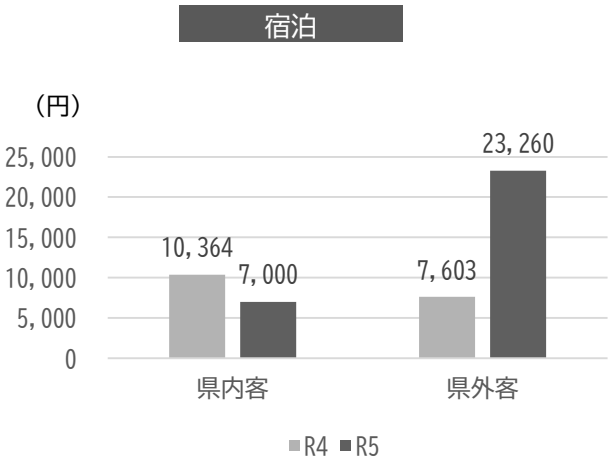
上越市の観光消費額

- 令和5年の観光消費額（推計値）は254億5140万円と、前年比で80億40万円の増額となった。
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、県外客による消費額単価が大幅に増加したと推察される。
- 県内宿泊客の消費額単価は減少したものの、日帰り客の消費額単価が増加したほか、観光入込客数も増加（回復）したことから、観光消費額（推計値）は大幅に増加した。

項目	令和4年	令和5年	差
観光消費額 （推計値）	174億5100万円	254億5140万円	80億40万円

【観光入込客1人あたりの平均消費額単価】※日本人・観光目的

年	観光消費額単価（円/人回）			
	県内客		県外客	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
令和5年	7,000	4,413	23,260	4,108
令和4年	10,364	1,383	7,603	1,572
増減	▲3,364	3,030	15,657	2,536



出典：「観光入込客統計に関する共通基準（観光庁）」に基づき、上越市独自で観光地点パラメータ調査（聞き取り調査）を実施し、推計値を算出。

Ⅲ その他

上越観光Navi アクセス解析

- 上越観光Naviの令和5年総PV（ページビュー数）は2,081,564件。
- PV数が最も多くなるのは3月となっており、高田城址公園観桜会に関するページが多数閲覧されている。
- 男女比では男性の割合がやや多くなっており、年齢別の割合では25～44歳が過半数を占めている。

図1 ページビュー数

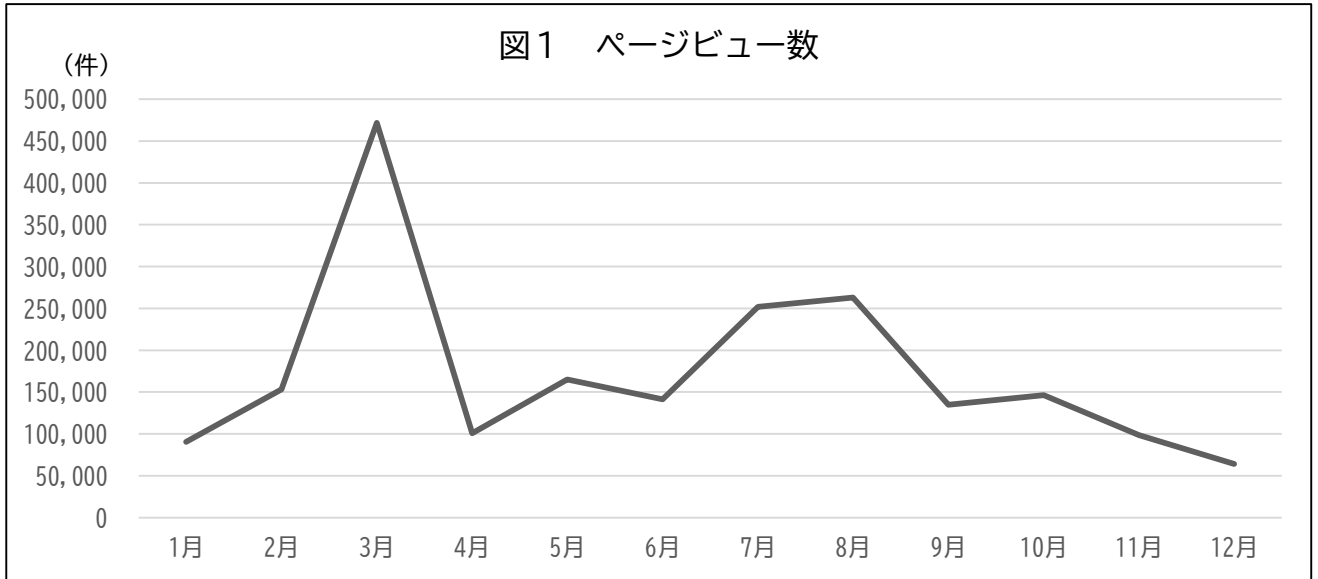


図2 男女比

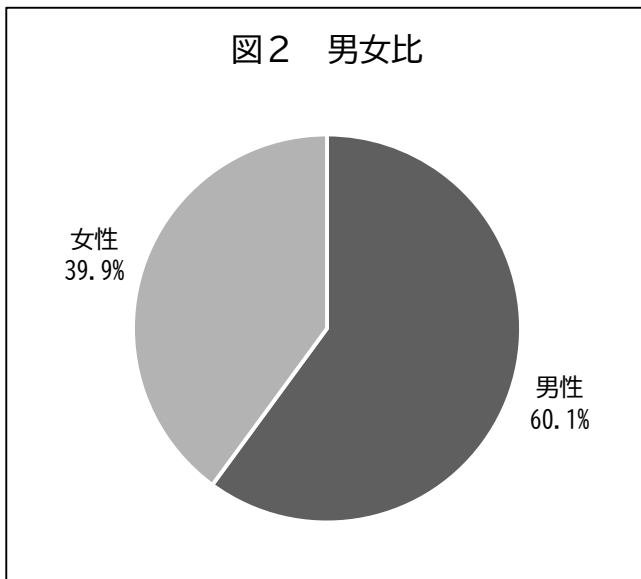
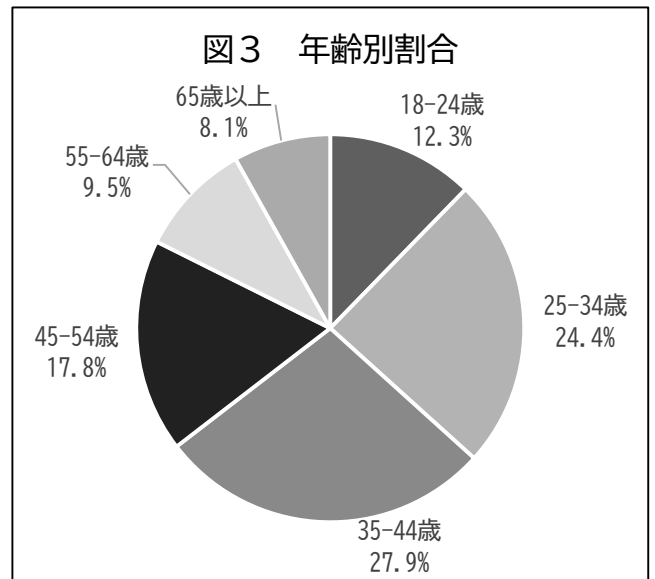


図3 年齢別割合



出典：「Google Analytics（グーグルアナリティクス）」によるアクセス解析を基に市で作成

上越市の観光に関するデータ集
令和7年7月 発行

発 行 上越市
編 集 上越市 文化観光部 魅力創造課
〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号
T E L (025) 520-5740 F A X (025) 520-5853
U R L <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>